

2011年 司書部 冬の研究集会

日時：2011年11月16日(水)

場所：大阪府立寝屋川高校

参加者：31名(府立23 私学7 国立1)

内容 第一部 ○各学校における展示などの実践(写真など)

第二部 ○報告1 池田北高校図書館の現状…なぜ伸びない、貸し出し冊数

発表 大阪府立池田北高校 宮下貴子さん

○みんなで考えよう!利用される図書館にするには…

第三部 ○報告2 自主的な図書委員会活動

発表 大阪府立寝屋川高校 村田真理子さん

○寝屋川高校図書委員会活動および図書館の見学

<第一部>

各校における展示の実例をパワーポイントにまとめて紹介しました。

- ・枚岡樟風…可愛いカードを作り、生徒の興味を惹くよう工夫されたハロウィンの展示。



「手づくりカードBOOK」ブティック社 より作ってみました。

- ・佐野高校…図書委員と一緒に作成した「でっかいかぼちゃ」が迫力のハロウィン展示。



図書委員の展示班に制作を依頼。印刷室からもらった更紙の包み紙で作ったジャンボかぼちゃを仕上げ中。ふたつ作りました。



ひとつは図書館入り口でお迎え。迫力満点です。



司書作成のフェルトのおぼけのリースも可愛くできました。



- ・茨田高校…文化祭で図書委員と一緒に行った「絵本展」。教室に畳をひき、面展台を使った絵本の展示は見ごたえがありました。

「文化祭会場で展示」



「図書館展示」 (文化祭後の図書館で展示)



- ・ 交野高校…月ごとに行っている様々な展示を紹介。ひと目をひくポスター、工夫された本の並べ方など、学ぶことがたくさんありました。

<ハロウィン>



<いろいろな展示>

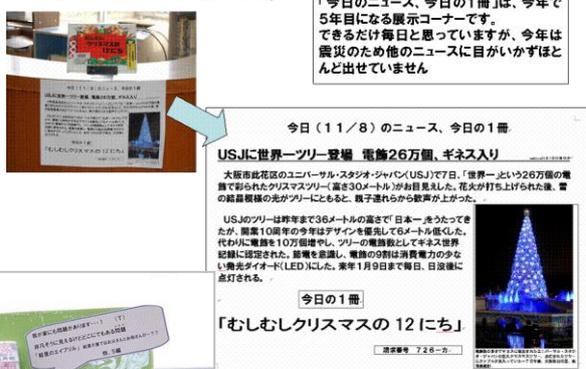


- ・ 泉大津高校…10 から 20 冊の本を公共図書館から借り受けて、毎週新しい本を展示。展示だけでなく、本棚の上や本棚の中にも本の展示をされています。また「今日のニュース、今日の1冊」というコーナーを作り、毎日その日のトピックスを新聞記事とともに関連の本を展示、紹介されています。

<いろいろな展示2>



<今日のニュース、今日の1冊>



- ・ 港高校…おり紙でたくさんのかぼちゃをつくり、ハロウィンの展示。これだけたくさんのかぼちゃがあると図書館に来た生徒も、思わず立ち止まってみてしまうようです。そのほか、秋のテーマで「演劇の本」の展示。自校の本だけでは深みのある展示ができないので、他校からの協力の下、バラエティにとんだ本の展示となっていました。

<秋の読書週間> ハロウィンにあわせて展示



<第二部>

「なぜ伸びない、貸し出し冊数 ～池田北高校図書館の現状～」

発表 大阪府立池田北高校 宮下貴子さん

1. 池田北高校の概要

- ・ 創立28年。全校生571名の小規模校
- ・ 高台にあり風光明媚で環境はよい分、駅からはバスが必須。
- ・ 4階建て中廊下式校舎。図書館は2階にある。
- ・ 開館は昼休みと放課後。
- ・ 貸出条件は、1人3冊まで、期間は2週間。雑誌とマンガは貸出していない。
- ・ 図書館利用状況は、来館者数が、1日40名弱。
年間一人当たり貸出数が 約1.2冊。
- ・ 選書会議は、1週間に1回くらい開き、検討している。
- ・ 生徒のリクエストは随時受付。実物を見て検討。(中には挿絵でびっくりするような本があるので)
- ・ 教員のリクエストも随時受付。職員室にもリクエスト用紙を置いて対応している。
- ・ 生徒の雰囲気としては、勉強はあまり好きではなく本についてもあまり親しんできていないと思われる生徒が多い。

2. 図書館としての取組み

「授業に読書の時間を取り入れたいので図書館としても協力をしてほしい」との依頼がきっかけで、廊下にポスターの掲示や、今までは、昼休みと放課後しか開館できなかった

(忙しいのといろいろな当番があたるのであけられなかった)ところを、休み時間も開館するようにしました。すると、授業間の休み時間にも生徒が本を借りに来ます。また、ポスターなどの掲示物を見て、先生方も図書館に来るようになりました。3年生は図書館と同じフロアーに教室があるので、廊下にポスターを貼るなどして、本の宣伝に努めています。しかし、これもなかなか貸し出しに結びついていなくて、3~4人が本を借りにきた程度…。1年生はフロアーが違うので、階段の踊り場にも案内ポスターを貼っています。この案内ポスターは2日間ごとに内容を変えています。



「進路を考えるLHR」にあわせて、図書館でも特別コーナーを作り関連の本の展示を行いました。案内ポスターは図書館だけでなく、各教室にも貼ってもらいました。掲示物は生徒の視線を考えて低めにするなどの工夫もしています。先生の反応はよかったのですが、生徒はあまり見に来てくれませんでした。授業に関する展示(特に国語)もできるだけ行っています。展示する本は、自校の本だけでなく、公共図書館からも借り受けて、幅広い本を展示するようにしています。

積極的に本の展示を行い、生徒に少しでも興味をもってもらい、本を手にとってもらえるように心がけています。展示コーナーを作っているときに、一緒につくりたいという生徒もいて、興味はもっているのですが、それが貸し出しには繋がっていません。

展示、教科学習への支援、学校行事へのタイアップなど、いろいろ試みしていますが、なかなか全体的な底上げとはなっていきません。本をよく読む生徒では、多少貸出冊数が増えるのですが、そうでない生徒に広がっていかないのはなぜなのだろうかと思っています。みなさんにもお聞きして参考にしたいと思っています。

3. みんなで考えよう！利用される図書館にするには…

各班に分かれて、「どうすれば貸出が伸びるのか」について話し合いました。

- ・ 10分の休み時間も開館することは大事。電気がついていて明るいと生徒も図書館に入ってきてやすいし、ついでに本も借りて行く。
- ・ 図書館のドアは常に開けておく。いくら開館していても、閉まっているドアを自分で開けて中に入るのは結構ハードルが高い。
- ・ 選書が大事。生徒の読みたい本が入っていれば借りていくし、生徒にとって満足度が高くなる。ただ予算があるので、選書は難しい。生徒の希望が多いライトノベルズの扱いは悩むところである。
- ・ 生徒のプライドを傷つけないように注意は必要だが、ビジュアルで読みやすい本を選書するようにする。
- ・ 図書館の案内を遠くからでも見えるように工夫する。
- ・ 貸し出しを伸ばすためには、やはり多くの本が必要になる。そのためにも、府立図書館

や市立図書館から本を借りることは必要。だが返却されないトラブルや貸出期間の短さなどを考えるとためらってしまう。

- ・ 図書館は、第二の保健室になっている。貸し出しには繋がらないが、文字に親しめない生徒達が居場所を求めて図書館にやってきている。貸し出しの数にこだわらなくてもいいのではないか。
- ・ 私立の学校では、予算も潤沢にあり（本は月に200冊くらい購入）専任の人もいるので、図書館利用者は多い。貸し出しも年間一人当たり、6冊くらい。
- ・ 図書館の入り口をにぎやかにする。来た人を中心に呼び込むように。
- ・ 図書だよりを掲示してずっと見られるようにする。また、全員に配って、生徒だけでなく、家の人にも見てもらえるようにする。
- ・ 先生が授業に使ってくれたら、貸し出しも伸びると思うので、先生への働きかけをする。
- ・ 授業との連携を大切にする。
- ・ 新刊本を入り口付近に置く。
- ・ ブックリストをクラスに掲示させてもらう。
- ・ 人を呼ぶイベントを行う。

自分の学校の生徒がどんな本を求めているのか、しっかり把握した上で選書を行う。また生徒が気軽に図書館に入ってこられるようにドアは常にかけておくなどの環境を整えることも大切である。展示や広報で本の紹介をすることで、生徒と本を結びつけることも忘れてはならない。先生と協力し、授業や課題へのサポートも心がけること。そのためにも、公共図書館や府立図書館との協力も必要だろう。また、PTA や同窓会、講演会などに協力を仰ぎ、できるだけ書籍予算を増やすようにする。などの意見をふまえて実践してみてもどうかということになりました。

討議時間が短く、出された意見について十分な話し合いができなかったため、発表者の求める「貸出を伸ばす」ことへの参考にならなかったかもしれません。しかし、池田北高校のさまざまな活動報告は、それぞれの学校での取り組みに大変参考になると思いました。

<第三部>

「自発的な図書委員会活動」

発表 大阪府立寝屋川高校 村田眞理子さん

1. 寝屋川高校の現状

寝屋川高校は昨年100周年を迎えた伝統校です。授業での図書館利用はあまりなく、教科との連携も課題図書も多くありません。生徒たちはまじめに勉強に取り組む進学校です。貸出冊数が少なかったため、まず選書を変えてみました。生徒のリクエストを大切にするように心がけたら、だんだん図書館に生徒がきてくれるようになりました。

2. 図書委員の活動

2007年度からカウンター当番になった生徒には、図書委員になったからには少しでも

本を読んでもらいたいとの思いもあり、当番をするだけでなく、本の紹介文を書いてもらうようにしました。

2007年度は読書週間に「高校生が主人公」の本の紹介を、2008年度は読書週間に「新着図書」を中心に本の紹介を行いました。2009年度からは、学年毎にテーマを決めて本の展示を行うようになりました。読書週間に生徒をひきつける方法として、生徒の興味を惹く本の展示を行いました。生徒図書委員がポスターを作製し、テーマも自分たちで決めて本の展示を行っています。

3年生…「太宰治」 6月9日の桜桃忌にあわせて、太宰治の本を紹介

2年生…「話題の本」 ドラマ化や映画化された本を紹介

1年生…「新入生にこんな本が図書館にあるよ」 生徒に人気のある本を紹介

2010年度は学校100周年にあわせて、「100年前に出版された本」や「その頃話題になった本」などを紹介、展示。2011年度は、「詩」ということで、あなたに響く言葉、捜しませんかと言うテーマで、詩を紹介、展示しました。

図書委員会活動といっても、今までは司書が「こんなことしてみない？」とか「今度こんな展示してみない？」とアドバイスしていたのですが、今年度は生徒の中から「こんなことしたい」という声があがるようになりました。今年は大震災があり、そのことから言葉の大切さを生徒自身が感じたよう

で、生徒の中から「詩」について展示したいという声があがりました。いろいろな生徒達が自分の思いを込めて詩の本を選び、自分たちで紹介文を書き、展示を行っていました。生徒達自身が紹介したい本だったので、どの紹介文も力作ぞろいとなっていました。

司書は、生徒自身がやりたいということをしっかり受け止め、生徒の気持ちを大切にしているとうことがよくわかる発表でした。



←『パズル』の展示

「こんな本も図書館にありますよ」という事で学芸員（カウンター係の生徒が春新一年生に図書館の本を紹介したものです。

『ノルウェーの森』の展示 →
「映画化された本」の紹介で数年前の読書週間の時に作ってくれたものです。



3. 寝屋川高校図書委員会活動および図書館の見学

発表の後、実際に寝屋川高校の図書館を見学し、図書委員の活動を見せていただきました。明るい図書館にたくさんの展示があります。図書委員さんたちもはきはきと質問に答えてくれ、とても居心地のいい楽しい図書館でした。



(写真を撮るのも忘れて見とれていたもので…。これは2012年3月のものです。)